

俳句のまち あらかわ

荒川区は、松尾芭蕉や小林一茶、正岡子規など、著名な俳人が多くの俳句を詠んだ地であり、区内各地に句碑が建立されています。平成27年3月に、「俳句のまちあらかわ」を宣言し、俳句にまつわる様々なイベントを開催しています。また、区内公共施設などにある投句箱からいつでも投句できます。



モノづくりのまち

「モノづくりのまち」でもある荒川区では、区内で製造・販売され、区民に親しまれている優れた製品を「荒川ブランド」として区内外へ紹介しています。また、荒川区のモノづくりをさらに多くの方に知っていただくために、事業者の皆さんのご協力のもと、製造工程の見学やモノづくりの体験ができる工場・工房などを、「モノづくり見学・体験スポット」として紹介しています。モノづくりの街・荒川の地域情報サイト「荒川探訪」でも紹介しています。



荒川探訪



Instagram

「味覚の穴場」に選ばれました！

Airbnb（エアビーアンドビー、世界でも有名な宿泊施設紹介サイト）に掲載された「2025年夏の旅行動向レポート」において、荒川区が「味覚の穴場」として世界10都市の一つとして掲載されました。荒川区の色々なお店を巡って美味しい料理をお楽しみください。



商店街

荒川区には、下町風情あふれる商店街がたくさんあります。現在、荒川区商店街連合会には38の商店街が加盟しています。テレビドラマやコマーシャルなどのロケ地になることも多く、区内のあちこちの商店街がよく登場しています。買い物をしたくなる、楽しくなる、また来たい魅力あふれる荒川区の商店街に、ぜひお越しください。



あらかわ もんじゃ

荒川区には荒川・町屋エリアを中心にもんじゃ焼き屋があり、様々な種類のもんじゃを食べることができます。バリエーションに富んだもんじゃをお楽しみください。



日暮里観光案内所 (日暮里駅京成北口改札前)

日暮里駅構内にある「日暮里観光案内所」では、観光パンフレットの配布やスタッフによる案内を行っています。外国語での対応も可能です。
荒川区にお越しの際は、こちらで情報収集をしてみたいでしょうか。
※ご案内時間は、午前10時から午後4時まで（ただし、12月29日から1月3日は除く）



荒川区観光ボランティアガイド

区内の観光スポットや史跡・文化財などを「荒川区観光ボランティアガイド」がご案内します。荒川区でまちあるきをされる際に、ぜひご利用ください！
下記の内容は変更となる場合があります。最新の情報は、荒川区観光ボランティアガイドの会事務局へお問合せください。

- ご利用方法 利用日の3週間前まで
- ご利用人数 5～15名（ご相談に応じます）
- ご利用できる日 通年
ただし、年末年始（12月29日から1月3日まで）、お盆（7月13日から16日まで）及び8月の期間を除く
- ご利用時間 午前9時30分から午後4時までの間の3時間以内（ご相談に応じます）
- ご利用料金など ガイド料金無料 配付資料なども原則無料
ただし、交通費・拝観料など案内に伴う経費は、ガイド分も含めてご負担いただきます。
- お申込み・お問合せ 荒川区観光ボランティアガイドの会事務局（荒川区観光振興課内）
☎03-3802-4689 ✉kankou@city.arakawa.lg.jp



荒川区のイベント・観光情報

荒川区に関する様々なイベントや観光の情報はこちらの二次元コードからご覧になれます。ぜひご覧いただき、まだ体験したことのない荒川区へ、ぜひお越しください。



荒川区 ホームページ
荒川区 X



荒川区産業経済部観光振興課

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3
電話：03-3802-4689
FAX：03-3803-2333
メールアドレス：kankou@city.arakawa.lg.jp

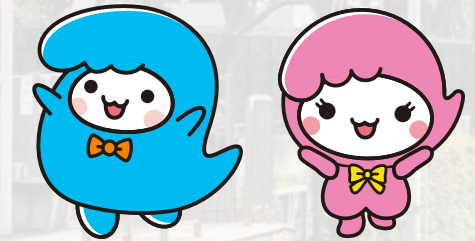
※本誌に掲載されている情報は、令和8年8月時点のものです。発行後変更が生じる場合があります。

令和8年8月発行 登録(08)0025



おいでよ! 荒川区へ

荒川区は、古くからの歴史や下町風情を随所に残しながらも、各地域の新しいまちづくりが進み、懐かしさと新しさが混ざり合った、人と人とのふれあいを大切にしているまちです。
荒川区には、あらかわ遊園・都電荒川線・隅田川・伝統工芸など、地域を象徴する様々な観光や歴史的資源があります。また、各地域で培われてきた固有の歴史・伝統・文化・産業や下町の人情なども、区が誇れる貴重な資源です。
ぜひ、実際に荒川区に足を運んでいただき、その魅力を感じてください。



荒川区シンボルキャラクター
あら坊 あらみい



都電荒川線

都電荒川線は、三ノ輪橋（荒川区）～早稲田（新宿区）の12.2km（30停留場）を約60分で結ぶ路面電車です。荒川区内沿線には、春と秋に色鮮やかなバラが咲き誇ります。荒川車庫前停留場に隣接する「都電おもいで広場」では、懐かしい停留場をイメージしたスペースに、旧型車両2両が展示されています。また、三ノ輪橋停留場にある「三ノ輪橋おもいで館」では、都営交通に関する案内や、荒川区の観光パンフレット等の配布を行っています。
※都営交通お客様センター☎03-3816-5700



主なお花見スポット

所在地	最寄駅
南千住3丁目・東京ガス周辺	都バス「清川」
都立汐入公園	都バス「汐入公園前」
さくら堤通り	都バス「はなみずき通り中央」
荒川総合スポーツセンター周辺	コミュニティバス（さくら）「南千住球場」 都電「荒川区役所前」
荒川公園（荒川区役所前）	コミュニティバス（さくら）「荒川区役所」 都電・都バス「荒川区役所前」
三河島水再生センター周辺	都電「荒川二丁目」
都立尾久の原公園とその周辺	日金ライナー・都電「熊野前」または 都電「東尾久三丁目」
あらかわ遊園とその周辺	都電「荒川遊園地前」
西尾久4丁目さくら通りとその周辺	都バス「西尾久四丁目」
カンカン森通り	都電「三ノ輪橋」 東京メトロ「三ノ輪」JR「三河島」 都バス「東日暮里四丁目」または 「東日暮里五丁目」
日暮里南公園・都立竹台高等学校周辺	JR・京成・日金ライナー「日暮里」 都バス「日暮里駅前」
日暮里駅前・日暮里中央通り	JR・東京メトロ・日金ライナー「西日暮里」 都バス「西日暮里駅前」
西日暮里4丁目・開成学園周辺	都バス「西日暮里六丁目」
西日暮里6丁目・冠新道	都バス「西日暮里六丁目」
都電とバラ	「マップ上」表示 都電沿線

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙で
リサイクルできます。

荒川区の観光スポット

1 都電荒川線とバラ

荒川区内の都電荒川線沿線には、約4キロの区間にバラを植栽しており、色鮮やかなバラが春と秋に咲き誇ります。その周辺には「荒川バラの会」が管理する5つのバラ花壇があり、バラをゆっくりと鑑賞することができます。



2 あらかわ遊園

西尾久6-35-11 ☎03-3893-6003

自称「日本一遅いコースター」や観覧車などの遊技施設をはじめ、室内遊び場「わくわくパーク」や動物とふれ合える「どうぶつ広場」、金魚の釣り堀などが人気です。また「一球さん」の愛称で親しまれていた都電6000形車両がカフェとしてオープンしています。夜間開園日は季節ごとのイルミネーションで彩られます。※営業日・料金等の詳細は、公式HPをご覧ください。



3 宮前公園

東尾久8-45-22 ☎03-3810-2111

隅田川沿いのスーパー堤防・図書館など、様々な機能を兼ね備えた新しい公園です。園内には、大人気の長いローラーすべり台や芝生が一面にひろがる多目的広場、バラを中心に植栽したローズガーデンエリアなどがあります。



4 尾久八幡神社

西尾久3-7-3 ☎03-3893-1535

創建は定かではありませんが、鎌倉時代末期の正和元(1312)年に尾久が鎌倉の鶴岡八幡宮の領地になった頃と推定されています。尾久の総鎮守であり、農業、工業、商業の神様として親しまれています。



5 都立尾久の原公園

東尾久7-1 ☎03-3819-8838

アシなどの湿生植物が生い茂り、トンボや野鳥が生息する水辺の自然環境がそのまま残されています。シダレザクラの名所にもなっており、毎年3月下旬頃には「シダレザクラ祭り」が開催されます。



6 荒川自然公園

荒川8-25-3 ☎03-3803-4042

東京都の「新東京百景」に選ばれた公園です。区の花形をかたどった白鳥の池や、楽しく交通ルールが学べる交通園などがあります。



7 ゆいの森あらかわ・吉村昭記念文学館

荒川2-50-1 ☎03-3891-4349

中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばが一体となった施設です。おはなし会や講演会、ワークショップなどを実施しています。



8 三河島水再生センター

荒川8-25-1 ☎03-3802-7991

日本で最初の近代下水処理場です。国の重要文化財に指定された旧三河島汚水処分場跡(ポンプ)場施設は、大正11(1922)年に運用を開始し、平成11(1999)年まで稼働していました。下水処理過程や重要文化財を見学できます。



9 韓国・朝鮮料理店が集まるエリア

JR三河島駅周辺
JR常磐線三河島駅周辺には、テレビなどで紹介された焼肉・物産など特色あるお店がたくさんあります。

10 日暮里繊維街

東日暮里3~6丁目付近

日暮里駅から日暮里中央通りを中心に、さまざまな生地や服飾関連小物、付属品など約80店の専門店が集まるエリア。ファッションや手芸に関するものが何でも揃う便利な街です。



11 ふらっとにっぽり

東日暮里6-17-6 ☎03-3801-7301

日暮里繊維街の中ほどにあり、観光などの総合案内、休憩スペース、ベビーステーションは誰でもご利用可能です。創作スペース・工房「ベビーロック・スタジオ日暮里」、創業支援施設「イデタチ東京」、日暮里区民事務所併設しています。



アクセスマップ

東京	徒歩	大手町	東京メトロ千代田線	町屋
	JR山手線	秋葉原	つくばエクスプレス	南千住
	約4分	JR山手線	約12分	
羽田空港	京浜東北線	品川	JR山手線	日暮里
成田空港	約23分	京成スカイライナー	約24分	
		約36分		



12 太田道灌像「回天一枝」 「山吹の花一枝」像

西日暮里2-19(日暮里駅前)

「山吹の里伝説」にちなんで鷹狩り姿をした室町時代の武将・太田道灌の銅像と、伝説に登場する山吹の花を差し出す娘の像です。日暮里地域には道灌の物見塚や山城があったとされる道灌山や本行寺など、太田道灌ゆかりの史跡・伝承があります。



13 下御隠殿橋 (トレンミュージアム)

西日暮里2-58

日暮里駅の東西を結ぶ跨線橋「下御隠殿橋」。この橋の途中には「トレンミュージアム」と呼ばれるパルコニーがあり、新幹線や特急列車を始め、山手線・京成線などを見ることが出来ます。



14 タヤけだんだん

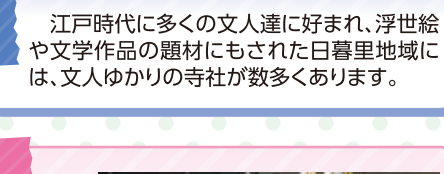
西日暮里3-13付近

谷中銀座商店街に通じる「タヤけだんだん」は、美しい夕焼けを眺めることができたことから、一般公募により命名されました。



15 日暮里の寺社

江戸時代に多くの文人達に好まれ、浮世絵や文学作品の題材にもされた日暮里地域には、文人ゆかりの寺社が数多くあります。



16 金子兜太句碑

南千住6-63-1 (荒川ふるさと文化館正面)

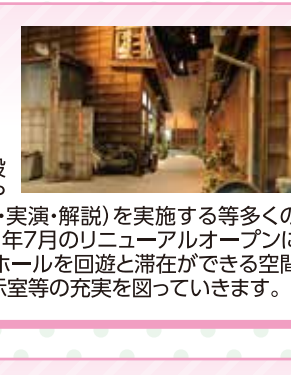
「荒川千住芭蕉主従に花の春」この句は、俳人・金子兜太氏から俳句のまちである荒川区にお寄せ頂いた作品です。これを記念し、平成29年3月に奥の細道矢立初めの地である南千住に句碑を建立しました。※荒川ふるさと文化館リニューアル工事のため令和8年10月頃から天王公園(南千住6-67-21)に移設



17 荒川ふるさと文化館

南千住6-63-1(南千住図書館併設) ☎03-3807-9234

荒川区の歴史・文化に関する情報を発信する施設で、原始から近現代までの通史に基づいた展示や伝統工芸の魅力を伝える展示、「あらわ座」(体験・実演・解説)を実施する等多くのイベントに親しまれています。現在、令和10(2028)年7月のリニューアルオープンに向けた改修工事のため休館中です。エントランスホールを回遊と滞在ができる空間に変えるとともに、ミュージアムショップや常設展示室等の充実を図っていきます。



18 素盞雄神社

南千住6-60-1 ☎03-3891-8281

区内で最も古い61ヶ町(南千住・三ノ輪・三河島・町屋)に氏子域を持つ神社です。境内には、松尾芭蕉(奥の細道)旅立ちの句を刻む矢立初めの句碑(区指定文化財)があり、これは文政3(1820)年に千住宿に集う文人たちによって建てられました。



19 松尾芭蕉像

南千住4-5(JR南千住駅西ロータリー)

元禄2(1689)年3月27日(新暦5月16日)、松尾芭蕉は千住の地から奥の細道の旅へと出立しました。奥の細道千住あらわサミット開催を記念し、平成27年3月に建立しました。周辺に日本古来の草花を植栽し、日本の原風景を再現する試みを行っています。



20 ドナウ通り

南千住4丁目(南千住駅東口付近)

荒川区の国際交流都市であるオーストラリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区の名前にちなみ、命名されました。春はツツジの開花、秋はモミジバフウの紅葉が美しく、来街者の目を楽しませてくれます。



21 科学技術展示館

(都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス)

科学技術展示館では飛行機、ヘリコプター、エンジンなどの実物を始め、NHKロケット出口ポットなど、教育的・歴史的に価値がある各種工学機器類を展示しています。一般公開については、ホームページで確認ください。



22 都立汐入公園

南千住8-7・13~16 ☎03-3807-5181

隅田川のスーパー堤防と一体化して、テニスコートなどのスポーツ施設、展望広場(東京スカイツリー®も眺望)やバーベキュー広場などが整備された、区内最大の公園です。春には堤防沿いの桜を楽しむことができます。

